

「杜の都から世界を照らしたい ～宮城県とタイの架け橋を目指して～ Vol. 2」

みやぎ海外絆大使

JICA 海外協力隊 2023 年度 4 次隊 タイ・日本語教育

横澤 萌佳

サワディーカー。JICA 海外協力隊 2023 年度 4 次隊タイ・日本語教育の横澤萌佳です。
私は、タイ東部チャンタブリー県にある、中高一貫校で日本語教師として活動しています。

授業では、教科書の内容を教えることはもちろんですが、日本文化を実際に体験する授業も大切にしています。

先日、高校 3 年生の授業で「推し活」を紹介しました。最初に、タイ語で「推し」と「推し活」の意味を説明し、具体的な「推し活」の例を提示しました。授業内では、日本の友人から集めた「日本のリアルな推し活」を紹介しながら、日本のアーティスト、俳優、アニメ、などのトレンドも紹介しました。また、私自身の「推し活」も紹介し、「ベガルタ仙台」をとりあげました。

2024 年 1 月に、ベガルタ仙台とタイのバンコク FC は包括連携協定を締結しました。さらに、同年 8 月には、ユアテックススタジアム仙台にてベガルタ仙台クラブ創立 30 周年事業インターナショナルマッチが開催されました。授業内では、ベガルタ仙台は、タイにゆかりのあるサッカークラブであるということを知ってもらうとともに、ベガルタ仙台のホームタウンであり、私の故郷である仙台を紹介しました。生徒の口から「先生～、ベガルタ仙台!」といった言葉を聞くことができ、とても嬉しかったです。

さらに、日本の「推し活」といえば、「団扇」ということで、折り紙で団扇を折りました。生徒それぞれが「推し」への想いをこめた「推し活用の団扇」を作り、盛り上がりました。活動中は、生徒それぞれの「推し」を日本語で一生懸命に伝えようとする姿がとても印象的でした。普段はシャイな生徒も、この日の授業は積極的に自分の想いを日本語で一生懸命に表現し、笑顔で取り組んでくれたことが最大の実りでした。



ベガルタ仙台を紹介する様子



折り紙で推し活用の団扇を作る様子



折り紙の団扇とベガルタ仙台グッズに身を包む生徒



折り紙の団扇と各々の推し活グッズを手集合写真（訪問した JICA 職員と共に）